



【湯本温泉】

☆昔懐かしい寺院風の建物、屋根には大きな赤いネオン

中国自動車道を美称1 Cで降り、国道316号線を長門方面に30分ほど走ると音信川(おとづれがわ)に沿って湯本温泉街が広がっている。その中心部にある赤い欄干の橋を渡ったところに、共



同浴場の「恩湯(おんと湯(冬季6時30分)から音信川を散う)」「礼湯(れいと湯)」は利用でき、入浴料は200円。築1川風にある。湯本温泉は1420円と安く、近在の人も吹かれると7年の開湯とされてお風呂がわりに利用されてとても気持ちいい。長州藩主も訪れた名湯であるように、古くは番台を抜け中に入ると、6月にな僧侶武士しか入浴できない二つの浴槽があり、源泉ると蛍が飛べたが、近代では一般が勢いよく流れ込んでいび交うのが入浴できるようになり。特に、男性浴槽はか見ることが賑わいを見せている。

「恩湯」は屋根に湯本温泉あたりまであるのが特徴。もう一つ泉と大きな赤色のネオン。徴。男女ともに浴場には、「礼湯」はあり、二階建てのレフト出湯の神の大明神が祀ら。恩湯の横の

なり深く立っけても胸で



本物の温泉紀行 ⑤

(株)広島建築住宅センター 常務 山口 邦 良

口な寺院風れ、「神饌の湯」である。坂道を登り一段高いところの構えをしとが見て取れる。こちらにはバリ

た建物で、湯 お湯は無色透明である。アフリーに建替えられて本温泉の元が、かすかに硫黄臭がすおり、設備が整えられ、湯として風る。アルカリ性単純温泉 銭湯色が強い。

情を醸し出で、湯温は少しぬる。また、下関方面にひと

している。そ度くらいでゆっくりに浸か 山越えれば、西の横綱に

の下は旧せついていると、アルカリ度の 番付された「俵山温泉」

んたく場跡 高い温泉の成分がゆっく があり、古くからリユウ

として再現りと体に浸みこみ、肌は マチ治療の湯治場として



いる。共同浴場は外湯の「町の湯」と新しく建てられた「白猿の湯」があり、昭和な雰囲気温泉街を散策すると懐かしくて楽

しい。代表的なお土産に白猿伝説にちなんで作られた三猿饅頭がある。

連絡先(恩湯)山口県長門市深川湯本2226

5、TEL0837-25-4507(礼湯)山口県長門市深川湯本22

64、TEL0837-25-3041

入浴料(恩湯)200円(礼湯)200円、

駐車場有20台程度